

ATypI香港不完全ガイド

本PDFはATypI香港へ日本からより多くの参加を促すために作ったものです。書体デザイナーのくせしてタイポグラフィや文章の品質はお粗末ですが、まあ英語版InDesignで出来る日本語組版なんて貧相も良いところですし、どうせ勢いだけで作ったものです。

注意: 公式サイト各イベント情報を日本語で簡易的に説明した文章を載せていますが、これはあくまで主観の入った摘要であり、かつ勢いに大きく左右されながら書いたものです。興味があるものは割と字数を割いてますし、そうでないもの、よく分からなかったもの、また単に執筆時に疲れていたものに関してはものすごくスカスカまたは間違いを含んでいる可能性があります。基本的には「片っ端から英語を読まされるよりはマシでしょ?」といった程度の気持ちで書いたものですので、どうかご容赦を。

参加の検討用資料として、また当日のお供としてお使いください。

書体デザイナー
大曲 都市
toshi@monotype.uk
@tosche_j

参加費(米ドル)

一日目のみ	一般	学生	二日目のみ	一般	学生
申し込み料金	150	75	申し込み料金	150	75

三日目以降のみ	会員	一般	学生	全日程参加	会員	一般	学生
早期申し込み*	500	600	180	早期申し込み*	650	750	250
後期申し込み*	550	650	180	後期申し込み*	700	800	250

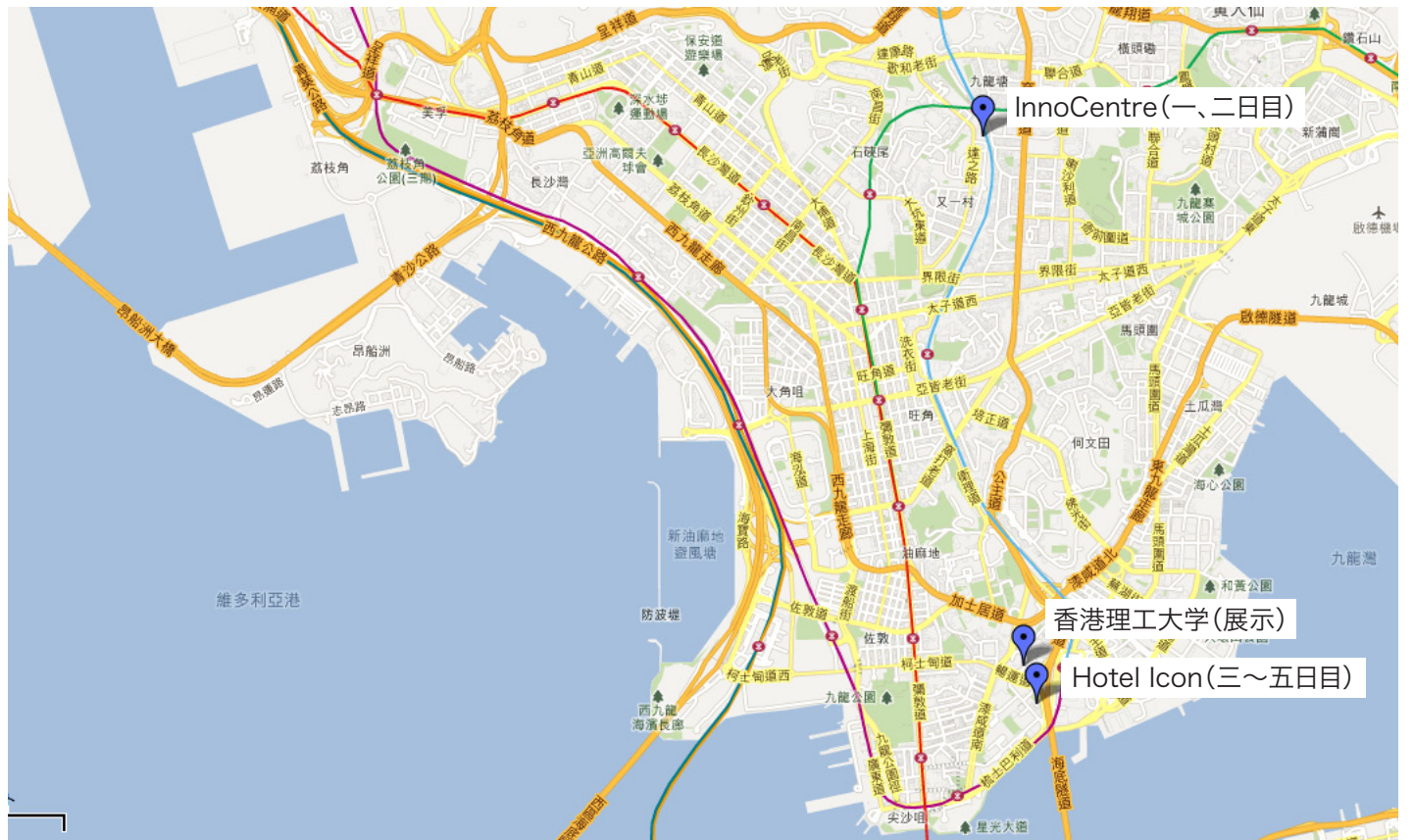
* 9月8日までの申し込みが早期で、9日以降は後期となります。決断はお早めに！

他にもSOTA会員用料金や講演者料金、ATypl指定国割引もありますが、日本には関係ないでしょう。また講演等のイベントには参加しなくてもランチやパーティーには参加(\$250)というオプションもあります。これは参加者の配偶者や家族向けといったものです。

参加登録方法

1. ATypl Storeに行く
www.atypi.org/store
2. 下の方のカンファレンス参加費のところへ行き、自分の該当する料金プランを選ぶ。
(ATypl membershipは年会費なので無視)
3. 一番下のContinue to summaryを選ぶ
4. 次のページでは備考欄に記入しなければいけない場合がある。学生なら備考欄に自分の所属する学校、コース名、学生番号を書く。複数名の参加を一括で行っている場合は全員の名前とメアドを書く(英語で)。
5. 後は住所氏名やらの必要事項を書けばいい。確か支払い方法や食事の好みも聞かれるはず。まあ分からないことがあったら僕に連絡ください。
6. 登録後は、もし1日目からの参加であればワークショップ(会場1、2)に参加したいかどうかの確認メールが来る。併行しているプレゼンだけで十分ならばNoでよい。なんとなく席を確保しときたいからYesという欲張りはダメ(ワークショップの席は小数なため)。
7. もう一つ、各日程のランチやパーティーに参加したいかどうかの確認、ベジタリアン料理を希望するかどうか、参加者名簿に自分の名前を載せても良いかどうかの確認メールも来るので、参加するのであれば[]内にxなど書いて返信(普通は参加する)。

会場マップ



もし一日目から参加する場合でも、ホテルはHotel Iconや香港理工大学の近くにとった方が無難かと思われます。五日間のカンファレンスはかなり疲れますので。

InnoCentre

72 Tat Chee Avenue, Kowloon Tong

香港理工大学

Polytechnic University Hong Kong (PUHK)

11 Yuk Choi Road

Hotel Icon

17 Science Museum Road

Day 1 (10 Oct) InnoCentre

ワークショップデイ

最初の二日間はワークショップデイと呼ばれるもので、2つのワークショップ会場と1つのプレゼンテーション会場が同時進行となります。ここから参加すると料金はちょっと高くなります(ワークショップに参加するかどうかに関わらず)。

時間	ワークショップ会場1	ワークショップ会場2	プレゼン会場
0830	参加登録と軽食(サンドイッチやコーヒーなど。参加者は無料)		
0930	多言語レタリング	0930 書体の品質的な評価	0930 プレゼン1 0955 プレゼン2 1020 プレゼン3
1040	休憩		
1100	多言語レタリング	書体の品質的な評価	1100 プレゼン4 1125 プレゼン5 1150 プレゼン6 1215 プレゼン7
1200	ランチ(参加者は無料)		
1400	1400 AFDKOを使ったCIDフォントの生成	1400 政治ポスターの世界	1400 プレゼン8 1425 プレゼン9 1515 プレゼン10 1600 プレゼン11 1625 プレゼン12 1700 プレゼン13
1600			最後は17時開始!
1700			

Day 1

ワークショップ会場1

午前:多言語レタリング

中国語の単語と、その英、仏、独、アラビア、ヒンディー語訳された単語も与えられる。参加者はその中から2つの言語を選び、互いに調和するレタリングをする(IllustratorまたはFontLabを使う)。企業や製品ロゴの多言語展開を想定したワークショップという印象。

午後: AFDKOを使ったCIDフォント生成
Adobeのフォント生成ツールであるAFDKOを使った日中韓(CJK)フォントの生成プロセスについてデモ&講習。

ワークショップ会場2

午前:書体の品質的な評価

書体を好みなどではなく判別性や可読性などで評価するにはどうするかを考える。被験者にどういう質問をするか、それをどう解釈するかといったユーザーテストの仕方を取り上げるワークショップ。

午後:政治ポスターの世界

講演者が博士論文で集めた大量の政治にまつわるポスターの内容やタイポグラフィなどを分析し、最終的には参加者にも作ってもらう。

プレゼン会場

0930 In with the new

今日の書体ライセンスの状況について
AdobeのタイプマネージャーとTypekitの創設者のコンビで語る。書体のデザインではなくビジネスの話。

0955 Future challenges of font licensing

将来の書体のライセンスが抱える課題について。FontShopのIvoさん。

1020 Crowdsourced font funding

一般人からの資金調達を目的としたサイトKickStarterが書体デザインのビジネスに

どういふ影響を与えるのかを考える。講演者はExtensisの製品マネージャーであり自身もKickStarterで書体デザインのプロジェクトを進めたThomas Phinneyさん。

1100 Multi-script brand identity: harmonization versus standardization

ブランドアイデンティティの多言語展開の仕方を、個人のデザイナーであるJean-Baptiste Leveeさんが、自身の手がけたエアーイヌイットのカスタム書体の経緯を例に語る。

1125 Nokia Pure

ロンドンに本拠を置く書体会社Dalton Maagが、携帯電話会社Nokiaの専用書体Nokia Pureの多言語展開について語る。現在行われている書体開発プロジェクトで最も大規模なものの一つ。

1150 How Web-based fonts and dynamic subsetting improve brand performance in East Asian writing systems

MonotypeのAlan Tamが、Webフォント使用時のファイルサイズの軽減のために開発したダイナミックサブセッティング(一文字単位のサイズ節約技術)について説明。

1215 Reading expertise

人は文字をどう読むのかを心理学的な観点も交えて分析、それが書体デザインに与える影響を探る。欧文だけではなく漢字も扱う。講演者はReading大の研究者。

1400 Personality traits of typefaces for English, Chinese, and Arabic

1425 Shades of grey: a look at how the brain processes typographic information

人の目がいかに文字情報を認識するかについて。

1450 Typography on medicine labels

読み誤りが命取りとなりかねない薬のラベルのタイポグラフィについて。

1600 And we forgot about the time “Flow”とは音楽家やアスリートなどというところの「限界まで集中している状態」。これをグラフィックデザインやタイポグラフィに取り入れるためのお話。

1625 Creation of two original type families intended for reading contents on electronic media
電子メディアのために作られたELT Sorbon GothicとELT Sorbon Romainという書体について。

1700 From the ashes of war & oppression

韓国の書体デザインの歴史(第二次大戦以降?)

Day 2 (11 Oct) InnoCentre

時間	ワークショップ会場1	ワークショップ会場2	プレゼン会場
0830	参加登録と軽食(サンドイッチやコーヒーなど。参加者は無料)		
0900			
0930	表意文字のデザインとプロダクション	0930 AppleScriptを使ってタイポグラフィ	0930 プレゼン1 0955 プレゼン2 1020 プレゼン3
1000			
1040	休憩		
1100	表意文字のデザインとプロダクション	AppleScriptを使ってタイポグラフィ	1100 プレゼン4 1125 プレゼン5 1150 プレゼン6 1215 プレゼン7
1200	1200 ランチ(参加者は無料)		
1300			
1400	1400 金属活字で中国語・英語のバイリンガル組版(別会場)		1400 プレゼン8 1425 プレゼン9 1515 プレゼン10
1500			
1515	休憩		
1600	金属活字で中国語・英語のバイリンガル組版(別会場)	1540 SIG	
1635		1635 各国代表	
1700			

1830から基調講演とATypIオープニングセレモニー(場所はそのまま)。
オープニングセレモニーはお酒や軽食の出るパーティー。

Day 2

ワークショップ会場1

午前:表意文字デザインとプロダクション
読んで字のごとく日中韓(CJK)フォントの
デザインの仕方。

午後: 金属活字で中国語・英語のバイリン
ガル組版
最近設立されたZi Wut活版工房にて、中
国語と英語のバイリンガル組版の技をデモ
ンストレーションする。

ワークショップ会場2

午前:AppleScriptでタイポグラフィ
Apple製のプログラム言語AppleScript
を用いてAdobeCSを制御し、コードでデ
ザインを記述するTeX的な手法の紹介

午後1:SIG

何でもアリの討論会。ネタは参加者任せ。

午後2:各国代表

ATyplの各国代表が自国のタイポグラフィ
事情を報告する場。

プレゼン会場

0930 An advanced stroke-based
font technology to incubate crea-
tive styles and speed up develop-
ment of Chinese fonts

アウトラインではなくストロークベースのフ
ォント製作手法で膨大な字数の中国語書
体を素早く作る方法。

0955 Kazuraki

Adobeの和文書体かつらきデザインに
ついてデザイナーの西塚涼子さんと山本
太郎さんが解説。

1020 Kazutaki

かつらき書体の抱える技術的な課題をい
かに克服したかをAdobeのCJK担当エン
지니어(?)のKen Lundeさんが解説。

1100 Adjustable font

TypeProjectの新書体、字幅が即座に調
整可能なAxis明朝についてデザイナーの
鈴木功さんが解説。

1125 TTF Autohint

Androidなどで使われているTrueTypeの
オートヒンティング機能を書体デザインに
応用し、面倒な手作業のTrueTypeヒンテ
ィングを改善するというプロジェクト。

1150 Web fonts for non-Latin
scripts

非ラテン文字のWebフォント事情と可能
性について。大曲さんが喋るらしいですが、
あんまり面白くなさそうなので飛ばしてい
いと思いますよ。

1215 Solving the challenges of
Asian Web fonts

CJK書体のWebフォント事情について。前
日の1-6と一つ前の2-7と合わせてMono-
typeは非ラテンのWebフォント特集。

1400 Making CJK Web fonts faster
これもCJKのWebフォントについて。

Monotypeが散々喋った後でのこれはちょ
っと大変そうな気が…。

1425 Managing font families just
got a lot easier

大規模なフォントファミリーの開発には名
前等の情報の統一、管理はなかなか骨の
折れる作業。このためにFontLab社がゼロ
から作り直したTransTypeをデモ。

1450 Glyphs and non-latin type-
faces

新進のフォント製作ソフトGlyphsの非ラ
テン書体への対応状況について。現在アラ
ビア文字、デヴァナーガリ文字、タイ文字
に対応しており、その制作方法や今後の対
応予定について。

InnoCentreでオープニングセレモニー

1830 ATypl会長と本会主催者による開
会宣言的なやつ

1845 浅葉克己の貴重講演

1935 ヘンリー・シュタイナーの基調講演
(香港グラフィック・デザインの父だとか)

2015 レセプションパーティー

(お酒とか軽食が出ます)

(ちなみに去年はアイスランドの大統領が
基調講演に来たんだよなあ…話がとても

上手かったし、ちゃんとタイポグラフィの話
してたし、ジョークも的確。あのインパクト
はなかなか超えられない。)

Day 3 (12 Oct) Hotel Icon

0800	0800 参加登録と軽食(サンドイッチやコーヒーなど。参加者は無料)
0900	0900 開会式(必要事項の連絡など)
	0915 Ming Wang氏による基調講演
1000	1000 休憩
	1020 Songti and the modernisation of Chinese typography
1100	1045 Hanzi: The Past, Present, and Future
	1110 Designing CJK typeface under an unified concept
	1135 Digging into the ATypI Archive
1200	1200 ランチ(参加者は無料)
1300	
1400	1400 Designing in the dark
	1425 Towards typographic diversity
1500	1450 An alphabet of 26 symbols
	1515 Vista Sans wood type project
	1540 休憩
1600	1640 Special meaning of black and white in Japan
	1625 Black and white in indian typography
1700	1650 Simplified Arabic
	1715 Note on Helvetica Thai
	1845 Non-Latin collection curator's talk (香港理工大学 PUHK)

Day 3

1020 Songti and the modernisation of Chinese typography

宋朝体とその発展に端を発する中国タイポグラフィの近代化について。

1045 Hanzi: The Past, Present, and Future

漢字書体の歴史、現在の書体デザインの抱える問題、そして将来の漢字書体デザインのあり方について。

1110 Designing CJK typeface under an unified concept

日中韓(CJK)書体を同一のコンセプトのもとに開発する手法についてモリサワの八神さんが解説。

1135 Digging into the ATypI Archive

英国レディング大に保管されている膨大な量のATypIアーカイブへ、書体デザインコースの主任Gerryがご案内。

1400 Designing in the dark

iPhoneやiPadなどの近年のデジタル機器における情報デザインについて、レディング在住の情報デザイナーのMark Barratの近年のプロジェクトを交えて解説。

1425 Towards typographic diversity

講演者のJulie(大曲さんのクラスメート)がタイポグラフィの習いたてのときに良い分類体系が無かったことで書体の勉強に苦勞した経験から、書体の分類をいかに自動的に進むかを研究し始めた。その経過報告。

1450 An Alphabet of 26 Symbols

アルファベットから大文字と小文字の区別を取り除き、真に26文字だけで欧文タイポグラフィを実現させるための試行錯誤の歴史を紹介。

1515 Vista sans wood type project

Emigréのデジタル書体Vista Sansを木活字化し、それを様々なデザイナーやアーティストに渡して作品を作ってもらおうというVista Sans木活字プロジェクトの紹介。

1600 Special meaning of black and white in Japan

書体デザイナーであり芸術家でもある小金哲志さんによる、自身の江戸文字書体についてのトークと、東北地震被害者追悼の意を込めて描いたというAdobe Japan 1-2準拠の文字絵画の紹介。

1625 Black and white in indian typography

インドの特にタミル文字のタイポグラフィについて、最初期の書字の時代から現在までを見渡す。

1650 Simplified Arabic

タイポグラフィの機械化によってアラビア文字が受けた文字数の極端な合理化の歴史を紐解く。講演者はこれをテーマにレディングで博士過程をやっている書体デザイナーのTitusさん。

1715 Note on Helvetica Thai

Linotypeから最近リリースされたHelvetica Thaiの製作について。

香港理工大学(PUHK)

1845 Non-Latin collection curator's talk

レディング大学の所蔵する非ラテン文字の資料の展示がここで行われている。展示品について、元Linotypeのデザイナーであり書体デザインコースの非ラテン専門であるFiona Rossが解説。

ところで香港理工大学ではこのレディング大の展示の他にも、10年の沈黙を破って再び開かれた国際書体コンペLetter.2の受賞作品の展示、Type Directors Club(東京じゃないよ)の受賞作品の展示もありますので、会場ではないとはいえ必ず訪れるべし。一応11日の夕方には全員訪れることになるけど。

Day 4 (13 Oct) Hotel Icon

0800	0800 参加登録と軽食(サンドイッチやコーヒーなど。参加者は無料)
0900	0900 Rounded Sans in Japan
	0925 Hiragino - "Japanese Helvetica"
1000	1015 The new form of "Kana character" written in the horizon...
	1035 休憩
1100	1100 Learning how to swim
	1125 Typography between Chinese complex characters and...
	1150 Hanzi of the West, letters of the East
1200	1200 ランチ(参加者は無料)
1300	
1400	1400 A study on text image and typographical texture of...
	1425 The front and behind
1500	1450 Chinese typeface recognition in public space
	1510 休憩
	1530 Investigation on the origination of Chinese Heiti
1600	1555 Homage to Meishuzi
	1620 Temporal typography
1700	1640 Development of types for Chinese minority script
	1715 漢語拼音之父 - Zhou Youguang, the father of Pinyin
	1900 パーティー(夕食あり、参加費に含まれています)

Day 4

0900 Rounded Sans in Japan

角丸のサンセリフは欧文タイポグラフィだ
とつい最近人気になり始めたジャンルなの
に対して、なぜ日本では一大カテゴリを築
くほどに丸ゴシックが人気なのか。お話は
小林章さん。

0925 Hiragino - "Japanese Hel- vetica"

「日本のHelvetica」などと言われることも
あるほどよく使われるヒラギノ書体の誕生
から現在の人気などについて三橋洋一さ
んが紹介。

1015 The new form of "Kana character" written in the horizontal direction

「もしひらがなが横書きの文化の中で初
めて生まれたものだとしたらどんな見た目
になっていたのか？」というテーマで研究を
続けている大日本タイポ組合の 秀親さん、
塚田さん、岡澤さんがその成果を報告。

1100 Learning how to swim

多言語タイポグラフィと書体デザインの抱
える問題を、それぞれ前半と後半に分けて
講演者のWilhelmさんのプロジェクトを例
に紹介。

1125 Typography between Chinese complex characters and Latin let- ters

いかに調和のとれた中文と欧文のタイポグ
ラフィを実現するかについてドイツと香港
の大学で研究を続けているタカギマリコさ
んが経過報告。

1150 Hanzi of the West, letters of the East

北京で10年間フリーのデザイナーをやっ
ているドイツ人のChristoph Stahlさん
が、自身が中国に来て感じた欧文の扱いの
悪さにヒントを得て「中文と欧文のタイポ
グラフィをいかに調和させるか」をテーマ
に執筆した論文を発表。

1400 A study on text image and typographical texture of Chinese typography

ウィリアム・ガンプルのもたらした金属活
字、簡体字の発明、横書きへの以降など、
清朝以降の中国のタイポグラフィの歴史を
俯瞰する。

1425 The front and behind

中国語書体を人間的、社会的、科学的な観
点から説明。

1450 Chinese typeface recognition in public space

道路標識のための中国語書体について。

1530 Investigation on the origina- tion of Chinese Heiti

中国語書体のカテゴリの一つ「黒体(ゴシ
ック体)」の誕生の謎に迫る。

1555 Homage to Meishuzi

中国のモダンタイポグラフィである
Meishuzi(って何?)について。

1620 Temporal typography

中国の映画/テレビのタイポグラフィ

1640 Development of types for Chinese minority script

モンゴル文字、チベット文字、バスバ文字
などの中国における小数派文字、その書体
のデザインについて。

1710 漢語拼音之父 – Zhou You- guang, the father of Pinyin

中国語のラテン表記法「拼音(ピンイン)」
の仕組みと歴史、また拼音を発明した御歳
106になる周有光について。

1900 パーティー

会場はそのままHotel Icon。
夕食とお酒が出るパーティー。

Day 5 (14 Oct) Hotel Icon

0900	0900 軽食(サンドイッチやコーヒーなど。参加者は無料)
	0930 ATypl AGM
1000	
	1030 休憩
1100	1050 Typography in marginal spaces
	1115 A study of punctuation marks' history in Hangul
	1140 Talnemo module, as an equivalent of italics in Hangul...
1200	1200 Seeking the Korean true italic
	1220 ランチ(参加者は無料)
1300	
1400	1400 A study of collision among and the coexistence of differ...
	1425 New Zealand Type on Display
1500	1450 Turkish masters of graphic design & typography since...
	1510 休憩
	1530 1530 Ideographic type design and production
1600	1555 Sammy Or氏の基調講演
	1625 閉会式
1700	

Day 5

0900 ATypI AGM

AGMは多分Annual General Meeting (本年度総会)の略だだと思います。諸々の年間活動報告や来年以降の会場のプレゼンが主な内容。

1050 Typography in marginal spaces

書籍タイポグラフィにおける「余白」の使い方の方に焦点を当てる。

1115 A study of punctuation marks' history in Hangeul

1933年に提案されたもののあまり重視されてこなかった、ハングル文字に付ける「発音記号」について。

1140 Talnemo module, as an equivalent of italics in Hangeul typesetting

ハングル文字におけるイタリック体の発明にあたって「タルメノ(非四角)」のアプローチの理論的正当性、実践時の有用性を説く。

1200 Seeking the Korean true italic

こちらハングルのイタリックについて。講演者のAaron(大曲さんのクラスメイト)のアプローチはより西洋的で、斜体のかかった草書体といった手合いのもの。前のプレゼンと比較するのが面白そう。

1400 A study of collision among and the coexistence of different Korean typeface designs

20世紀韓国に巻き起こった縦書きと横書きの混迷と衝突、そして印刷技術の急加速の中で生まれた様々な書体を、時代背景や技術的背景を基に検証する。

1425 New Zealand Type on Display

1880年ごろから自国の鑄造所なしに成長を始めたニュージーランドのタイポグラフィ、特にポスターなどの端物印刷のタイポグラフィの歴史を掘り返す。

1450 Turkish masters of graphic design & typography since the mid 50's

1950年のトルコのグラフィックデザインの大家たちについて。

1530 Ideographic type design and production

表意文字(≒CJK)の書体のデザインの一貫性の保ち方について、その伝統的な手法を紹介。